

ファーストイーサネット・スイッチ CentreCOM FS716XL ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS716XLをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、10BASE-T/100BASE-TXオートネゴシエーションポートを16ポート装備したファーストイーサネット・スイッチです。
本製品の使用により、既存のイーサネットLANシステムにおけるアプリケーションやネットワークソフトウェアの変更を必要とせず、簡単にパフォーマンスを向上させることができます。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

● 特長

- 32KのMACアドレステーブルをサポート
- DIPスイッチにより、ポートごとに通信モードをオートネゴシエーションかFull Duplex固定に切替可能
- 100Mbpsから10Mbpsへの転送時にパケットの損失を防ぐバックプレッシャ機能をサポート(Half Duplexで動作時)
- ブッシュスイッチにより切替可能なカスケードポートを装備
- 信頼性の高いストア&フォワード転送方式
- AC電源を内蔵
- ポートごとの通信状況が一目でわかるLEDを装備
- 19インチ・ラックマウントキットを同梱

● 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

- CentreCOM FS716XL 本体(1台)
- 電源ケーブル(AC100V-120V用・1本)
- ゴム足(粘着タイプ・4個)
- ラック取付金具(2個)
- ラック取付金具用ネジ(小・8個)
- ラック用ネジ(大・4個)
- 製品保証書(3年保証)
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号シール
- ユーザーマニュアル(本書)

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。
再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

● 各部の名称と機能

POWER LED(緑)
電源が正しく供給されているときに点灯します。

COL/FULL LED(10Mbps = 緑 100Mbps = 橙)
ポートがFull Duplexで動作しているときに点灯します。ポートがHalf Duplexで動作している場合は、コリジョンが発生しているときに点灯します。(通常、コリジョンの発生は一瞬ですので、実際は点滅に見えます。)

LEDの色は、ポートが10Mbpsで動作しているときは緑、ポートが100Mbpsで動作しているときは橙となります。

LINK/ACT LED(10Mbps = 緑 100Mbps = 橙)
ポートと接続先の機器がリンクしたときに点灯します。また、ポートがパケットを受信しているときに点滅します。

LEDの色は、ポートが10Mbpsで動作しているときは緑、ポートが100Mbpsで動作しているときは橙となります。

10BASE-T/100BASE-TXポート
10BASE-T/100BASE-TXのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。
ポート16は、MDI/MDI-X切替スイッチによって、カスケード接続用ポートとして使用するか、通常の10BASE-T/100BASE-TXポートとして使用するかを設定することができます。

MDI/MDI-X切替スイッチ
カスケードポート(ポート16)をカスケード接続用ポートとして使用するか、通常の10BASE-T/100BASE-TXポートとして使用するかを設定するためのスイッチです。出荷時設定は「X PC」(スイッチが飛び出している状態)です。

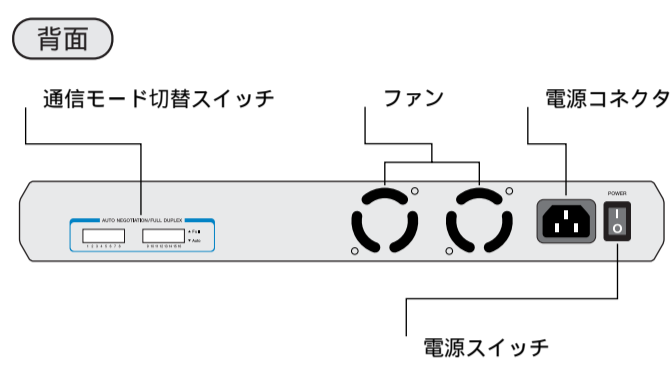
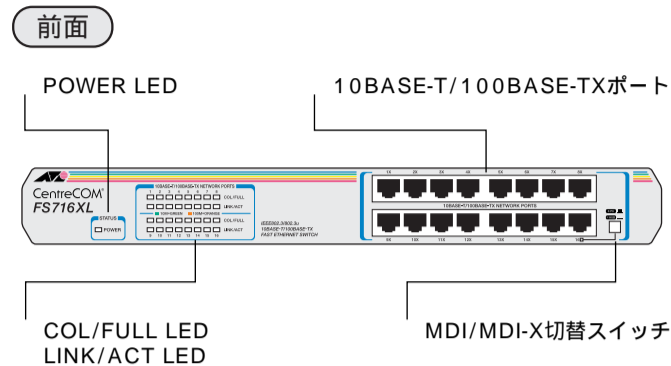
= HUB (スイッチが押し込まれた状態)
カスケード接続をするときのカスケードポート(MDI)として使用します。

X PC (スイッチが飛び出している状態)
通常の10BASE-T/100BASE-TXポート(MDI-X)として使用します。

通信モード切替スイッチ
通信モード(オートネゴシエーション/Full Duplex固定)をポートごとに設定するためにスイッチです。出荷時設定は「Auto」(下)です。

Full(上)
ポートをFull Duplex固定に設定します。通信速度(10Mbps/100Mbps)は自動認識で設定されます。

Auto(下)
ポートをオートネゴシエーションに設定します。接続先の機器に応じて通信モード(Half Duplex/Full Duplex)と通信速度(10Mbps/100Mbps)を自動検出して、最適な設定で接続します。



ファン
本体内部の熱を逃がして、空気の循環をよくするためのファンです。

●ファンをふさいだり、周囲に物を置いたりしないでください。

電源コネクタ
電源ケーブルを接続するためのコネクタです。

電源スイッチ
本体を起動、または停止させるためのスイッチです。電源を入れる場合は「I」(上)側に、電源を切る場合は「O」(下)側にします。

● 設置するまえに

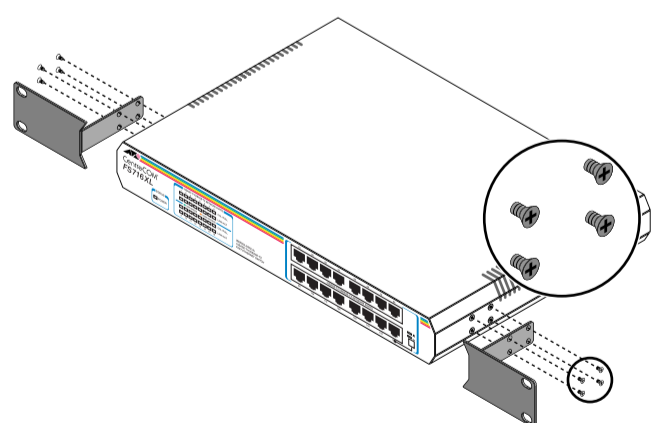
設置場所
本製品を設定する場所については、次の点にご注意ください。

電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような配置はさけてください。直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。十分な換気ができるように、本体側面、および背面をふさがないように設置してください。テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。指定された電源電圧(AC100-120V/200-240V)以外で使用しないでください。AC100V-120Vの電源電圧で使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。

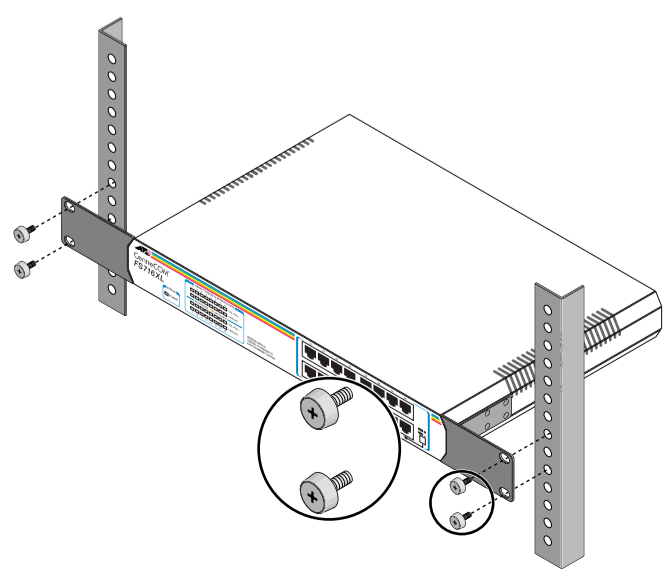
デスクの上などに設置する場合
本体底面の四隅に同梱のゴム足を貼り付けて、平らな安定した場所に設置します。ゴム足は本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をしますので、本製品をデスクの上などに設置する場合は、必ずゴム足を使用してください。

19インチラックへ取り付ける場合
同梱の取付金具を使用して、EIA規格の19インチラックに取り付けることができます。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルをはずします。
- ゴム足が貼り付けられている場合は、ゴム足をはずします。
- 本体側面に取付金具を合わせ、ラック取付金具用ネジ(小)で両側にしっかりと固定します。



- 19インチラックの希望する位置に本体を合わせて、ラック用ネジ(大)でしっかりと固定します。



●ラック取付金具およびラック取付金具用ネジは、必ず同梱のものを使用し、ラック用ネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

● 接続のしかた

ケーブル
すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。本製品と端末を接続するケーブルの長さ、また、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて100m以内にしてください。また、ケーブルは100BASE-TXの場合はカテゴリ5、10BASE-Tの場合はカテゴリ3以上のUTPケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

起動と停止
電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。本体背面の電源スイッチを「I」(上)側にすると起動し、「O」側にすると停止します。

通信モードの設定
ポートの通信モードは、接続先の機器を確認して、次の表の印の組み合わせになるように設定してください。接続先の機器がオートネゴシエーションをサポートしていない場合、本製品の通信モード切替スイッチを「Auto」(下)に設定していると、「10M Full」および「100M Full」での接続ができなくなります。この場合は、本製品の通信モード切替スイッチを「Full」(上)に設定します。通信速度(10Mbps/100Mbps)は自動認識で設定されます。

		自ポート (CentreCOM FS716XL)	
		Full	Auto
相手ポート	10M Half		
	10M Full		
	100M Half		
	100M Full		
	オートネゴ		

接続手順
1. 本体前面の10BASE-T/100BASE-TXポートにUTPケーブルを接続します。

2. ネットワークに接続する端末に、10BASE-T/100BASE-TXネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTPケーブルの另一端を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。

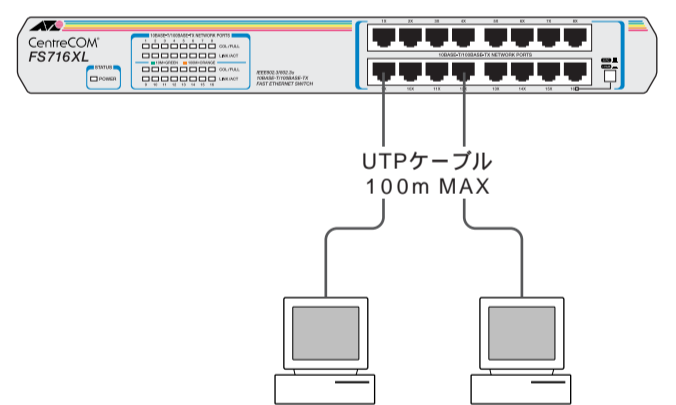
3. 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。

4. 電源スイッチを「I」(上)側にします。

5. 本体前面のPOWER LED(緑)が点灯したことを確認します。UTPケーブルが正しく接続され、端末の電源が入っていれば、接続したポートのLINK/ACT LED(緑/橙)が点灯します。

● スタンドアローン

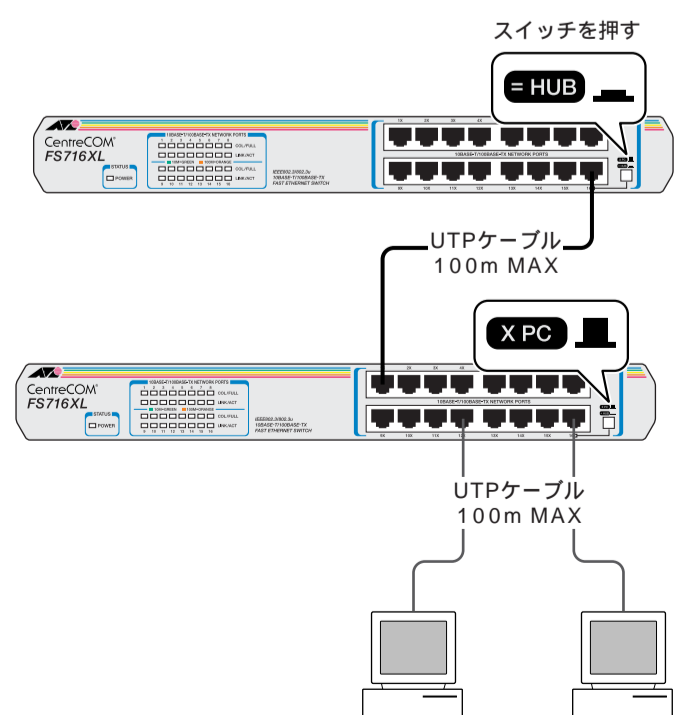
本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用することができます。本製品と端末間のUTPケーブルの長さは100m以内です。



● カスケード接続

カスケードポート(ポート16)を使用すると、ケーブルをクロスタイプに変更せずに、簡単にカスケード接続を行うことができます。また、スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

●カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。本製品とリピータやスイッチを接続するUTPケーブルの長さは100m以内です。



接続手順
1. 本体背面のカスケードポート(ポート16)にUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続します。

2. MDI/MDI-X切替スイッチを「= HUB」(MDI)に設定します。

3. UTPケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を、接続先の機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートに接続します。接続先が同一製品のカスケードポート(ポート16)の場合は、接続先のMDI/MDI-X切替スイッチを「X PC」(MDI-X)に設定します。

● トラブルシューティング

本製品が正しく動作しない場合は、次のことを確認してください。

POWER LEDは点灯していますか?
POWER LEDが点灯しない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。また、電源スイッチが「I」(上)側になっているかを確認してください。

LINK/ACT LEDは点灯していますか?
LINK/ACT LEDは接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。点灯しない場合は、次のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているかを確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。

また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。本製品と端末を接続するケーブルの長さ、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて100m以内です。

通信モード切替スイッチの設定を確認してください。本製品とオートネゴシエーションをサポートしていない機器を「10M Full」または「100M Full」で接続する場合は、通信モード切替スイッチを「Full」(上)に設定してください。この場合、通信速度(10Mbps/100Mbps)は自動認識で設定されます。

MDI/MDI-X切替スイッチを確認してください。本製品のカスケードポート(ポート16)を使用して、リピータやスイッチとカスケード接続する場合は、本製品のMDI/MDI-X切替スイッチを「= HUB」(MDI)に設定してください。本製品のカスケードポート(ポート16)同士をカスケード接続する場合は、一方を「= HUB」(MDI)に、もう一方を「X PC」(MDI-X)に設定します。

リピータを接続している場合、リピータの数が制限を越えていないか確認してください。10Mbps接続の場合、本製品にカスケードできるリピータの数は4台までとなります。100Mbps接続の場合、本製品にカスケードできるクラスIリピータの数は1台、クラスIIリピータの数は2台までとなります。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

● 製品仕様

サポート規格
IEEE802.3/IEEE802.3u

転送モード
ストア&フォワード方式

電源部
定格入力電圧 : AC100-240 V
入力電圧範囲 : AC90 ~ 255V
定格周波数 : 50/60Hz
平均消費電力 : 25W(最大 28W)
平均発熱量 : 22kcal/h(最大 24kcal/h)

環境条件
保管時温度 : -20 ~ 60
保管時湿度 : 95%以下(ただし、結露なきこと)
動作時温度 : 0 ~ 40
動作時湿度 : 80%以下(ただし、結露なきこと)

外形寸法(突起部含まず)
: 342(W) x 231(D) x 44(H)mm

重量
: 2.6kg

MACアドレス登録数
: 32K

適用規格
EMI規格 : VCCIクラスA
安全規格 : UL1950

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

● 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。
「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

● ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。
電話による直接の問い合わせはなるべくご連絡ください。
FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。
記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター

Tel: 0120-860-772

月～金 祝・祭日を除く)10:00～19:00

土 祝・祭日を除く)10:00～17:00

Fax: 0120-860-662

年中無休 24時間受け付け

● 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。
迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入ください。記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

● 使用しているハードウェアについて

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

(例)  S/N 00077000002346 Rev AA

● お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に再現できるように記入してください。
エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

● ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

● おことわり

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部、または全部をコピー、または転載することを禁じます。
予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。ご了承ください。
改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。ご了承ください。
本製品の内容、またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright 1999 アライドテレシス株式会社

● 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。
イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

● マニュアルバージョン

1999年4月 Rev.A 初版

調査依頼書 (CentreCOM FS716XL)

年 月 日

一般事項

1. 御社名:

部署名:

ご担当者:

ご連絡先住所: 〒

TEL: ()

FAX: ()

2. 購入先:

購入先担当者:

購入年月日:

連絡先(TEL): ()

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種 (製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名: CentreCOM FS716XL



2. お問い合わせ内容

別紙あり

別紙なし

設置中に起こっている障害

設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図

別紙あり

別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項は必ず守ってください。守られていない場合、感電やケガ、火災、故障の原因となります。



分解禁止

分解や改造をしない
ネジで固定されているパネルやカバーを開けたり、部品を変更して使用したりしないでください。
内部には電圧が高い部分があり、感電や発火のおそれがあります。



感電注意

雷発生時には装置にさわらない
雷発生時には、本体、および電源ケーブル、接続ケーブルなどにさわらないでください。
雷発生時に本体、ケーブル類に触れると感電のおそれがあります。



禁止

指定の電源電圧以外を使用しない
本製品同梱の電源ケーブルは、AC100V～120Vのコンセント以外に差し込まないでください。
また、タコ足配線をしないでください。
他の装置と併用すると、分岐コンセント部の発熱による発火や感電のおそれがあります。
なお、本製品の定格電源は、AC100V-120V/200V-240V となっています。



指示

通気口をふさがないように設置する
本製品の通気口をふさがないように設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



禁止

電源ケーブルを傷つけない
電源ケーブルを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。
また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源ケーブルを傷め、火災や感電のおそれがあります。



禁止

不適切な場所に設置や保管をしない
次のような場所に設置や保管をしないでください。
火災や感電の原因となることがあります。
・直射日光の当たる場所
・高温、多湿の場所
・火気のある場所
・ほこりが多い場所
・振動が激しい場所
・腐食性のガスが発生する場所

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
温度 0～40% 湿度 80%以下 (ただし、結露なきこと)



プラグを抜け

設置や移動のときは電源プラグを抜く
本製品の設置、および移動を行う場合は、接続されている機器の電源スイッチを切り、電源ケーブルをはずしてから行ってください。
電源ケーブルが傷つき、火災や、感電の原因となったり、機器の落下などによりケガの原因となることがあります。



指示

本体ボディのお手入れ
本体ボディのお手入れは、柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤をふくんだ布でふいた後、からぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。